

# 非破壊試験機

## PRO Tester TR-30

アンカーボルト引抜荷重確認試験機

## 取扱説明書



適合サイズ

M6～M16

W1/4～W1/2



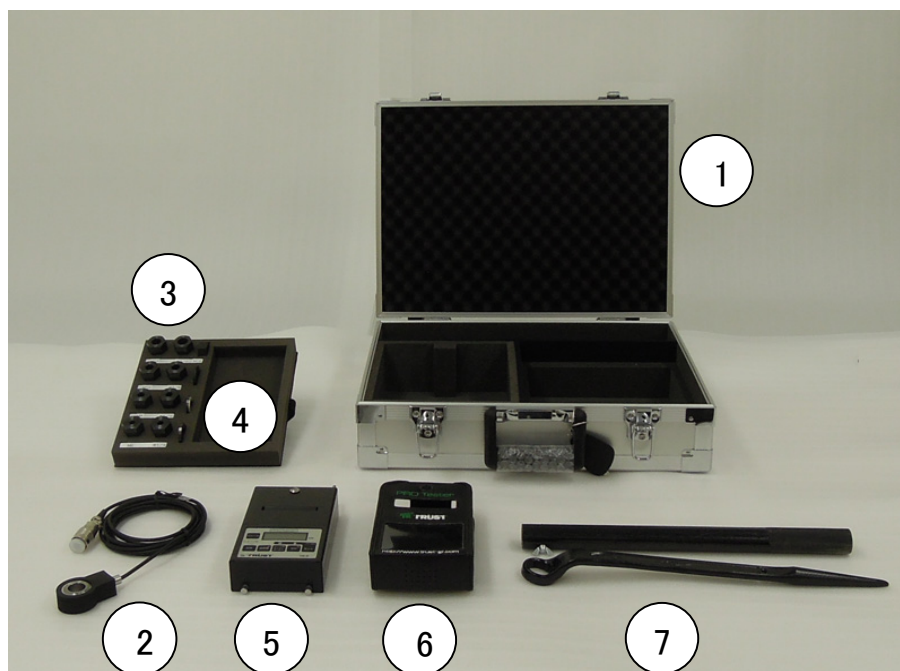
株式会社 トラスト

〒567-0029 大阪府茨木市五日市緑町5番32号  
(TEL) 072-621-4164 (FAX) 072-621-4166

# 目 次

1,	各部名称	.....	P-1
2,	組立手順	.....	P-2~3
3,	操作手順	.....	P-4~6
4,	注意事項	.....	P-7

# 1, 各 部 名 称

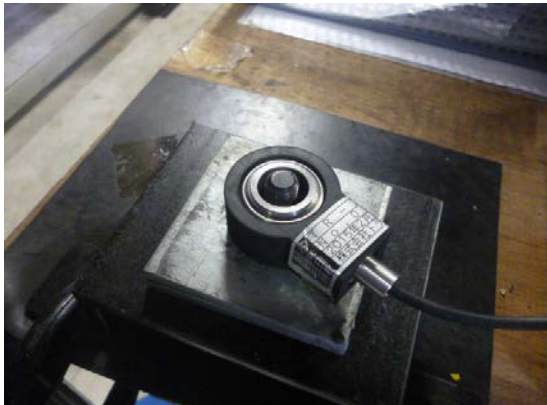


- ① 専用ケース
- ② センターホール型荷重計 (TR-30)
- ③ 専用ナット M6～M16、W1/4～W1/2
- ④ 専用ワッシャー
- ⑤ デジタルプリンター付表示機
- ⑥ デジタルプリンター付表示機用ケース
- ⑦ スパナ (24mm)、延長パイプ

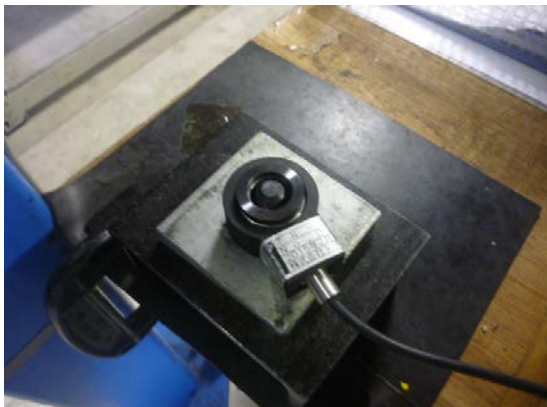
## 2, 組立手順



- ① 座金A(t=4.0mm)をボルトに通します。



- ② 座金Aの内径孔に沿うように、  
センターホール型荷重計を設置します。



- ④ センターホール型荷重計の上に  
座金B(t=4.5mm)をのせます。



- ⑤ 座金Bの上に銀色(片面鈍色)の  
座金を、鈍色面を上にして設置します。



※銀色の座金を使用しないと、  
センターホール型荷重計が供回りします。

鈍色面

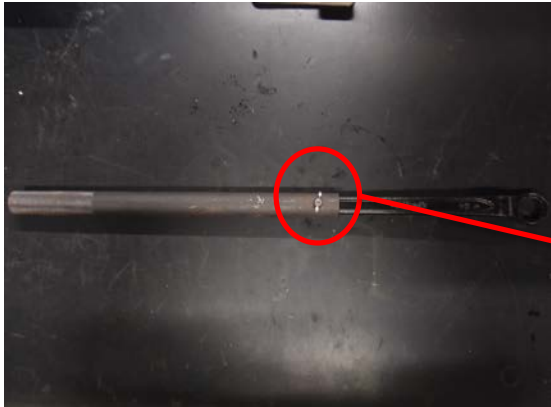


銀色面





- ⑥ カプラを軽く手で締め付けます。  
凸凹面などは、水平になるように  
鉄板やクサビなどで調整して下さい。



- ⑦ スパナに延長パイプを繋ぎます。

⚠ ※蝶ネジを必ず締め付けてください。



### 3, 操作手順



- ① デジタル表示機の入力コネクタにセンターホール型荷重計が接続されているか確認します。



- ② 電源スイッチを「POWER ON」の位置に合わせます。  
※バックライト使用時は「LGT」の位置に合わせます。



- ③ 電源を入れてから 15秒程度はセンターホール型荷重計認識中の為操作をしないで下さい。  
「----」と表示されたあと、「0.1」や「0.2」等の数字に変化します。



- ④ 測定値を設定する場合、[設定値]ボタンを押します。

※ボタンは少し長めに押します。



- ⑤ 点滅数字を→↑で選択し、荷重設定値を加数で設定します。

シフトボタンを押しながらの操作で減数します。



- ⑥ 荷重設定入力後、[セット]ボタンを押し、設定を完了します。



- ⑦ [ゼロ]ボタンを押し、ゼロ設定をします。表示部に「- - -」表示後、通常表示に戻ります。  
[ゼロ]ボタンのランプが点灯します。



- ⑧ 最大値の表示を保持する場合は、[ピークホールド]ボタンを押します。  
[ピークホールド]ボタンが点灯します。



⑨ スパナでカプラを締め付けて測定します。

設定値に達するとアラームが鳴ります。



⑩ [印字]ボタンを押し、測定データをプリントします。

※「Pr」・「PE」が表示される場合や

印字が薄い場合は新しい電池に交換して下さい

【主なプリンターのエラーコード】

コード	症状	解決方法
PE	プリンタエンド。記録紙がないか、バッテリー不足です	記録紙を交換してください。記録紙に残がある場合は、電池の交換を行なってください
Pr	プリンタエラー。ロックレバーが上がっているか、バッテリー不足です	上蓋を開け、ロックレバーを確認してください 問題がない場合は、電池の交換を行ってください
IdEr	TEDS通信エラーです	機能「F-7」が「0000」になっているか、接続に問題がないか確認してください
Ad	センサケーブルが未接続です。配線を確認してください	ケーブルの接続に問題がないか、接続を完了してから電源を入れているか、再度確認してください

※解決方法を試みても解消されない場合、故障が疑われます。  
直ちに使用を中断し、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。



## 4, 注 意 事 項

- 1, 説明書をよく読み理解してから、ご使用ください。
- 2, 指定用途以外には、使用しないで下さい。 損害、怪我を招く恐れがあります。
- 3, ロードセルのコード部分は持たないでください。破損の原因となります。
- 4, 故障や煙が、出ている、変な臭いや異常な音がしたら、ただちに電源を遮断してください。  
そのままで使用すると、火災、感電の原因になります。
- 5, 内部に異物や水を入れしないで下さい。万一異物が入ったときは、ただちに電源を遮断して下さい。  
そのままで使用すると、火災、感電の原因になります。
- 6, 引火性ガスまたは引火性蒸気がある場所で本器を使用しないで下さい。
- 7, 振動のはげしい所でお使いになる時はご注意下さい。
- 8, 運搬するときに落とすなど、強い衝撃を加えますと故障の原因となりますので十分注意して下さい。

### 『確認荷重について』

あと施工アンカー引張試験での引張荷重は、それぞれの現場、または、設計事務所に  
よって多少異なる場合があります。

設定荷重値は設計事務所、または、現場監督に確認した後、確認試験を行って下さい。

本機は非破壊試験機です。母材の破壊やアンカーボルトの破断等のないよう、  
加える荷重には十分注意してください。

# TRをご使用になる前に必ずお読みください



I TR-30/75/150をご使用になる前に  
F-7の数字が「0000」か確認してください。  
「0000」なら安全に試験ができます。

※表示が「0000」では違う場合は、  
下に進んでください。



II F-7を確認するときは、セットボタンの  
長押しすると、表示画面にF-1が  
表示されます。

※F-1は絶対に触らないでください。



III F-1の表示から、  
「ピークホールド」のボタンを6回  
押して、表示画面にF-7にしてください

F-7が表示されたら、セットボタンを  
押してください



IV 「1100」の「11」を「0」にして、  
「0000」にします。

「ピークホールド」ボタンで右に進んで、  
「ゼロ」ボタンで「0」にします。



V 「1100」の「11」はTR荷重計と接続したとき、00の場合は、自動的に設定が読み込まれますが、「11」の場合は自動的に設定を読み込むことを禁止するため、TRを使用される場合は必ず「0000」にしなければなりません。



VI 「0000」に出来ましたら、セットボタンを押すと、F-7の画面に戻ります。

ゼロボタンを押すと、現在の荷重の表示画面に戻ります。



VII 一度電源を落として、起動してもらえると、表示は接続している荷重計の画面になります。